

## 目的ベースのまちづくり活動

### ⑨認知症の応援者になろう！

#### ～尾道市認知症キャラバン・メイト連絡会～

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らしたい。尾道市認知症キャラバン・メイトは自らが講師になり、誰もが認知症を正しく理解して認知症の人やその家族を見守り支援できるよう、市内の学校、企業、地域に出向いて「認知症サポーター養成講座」を開催しています。

#### きっかけは？

認知症の中には、早く診断し治療を行うことで、治せるものもあります。でも、手遅れになると治せるものも治せなくなってしまう。認知症を正しく知り、地域全体で認知症の人やその家族を見守り、支援できるようにしたい。そんな気持ちから、地域・企業・学校で認知症を学んでいただくための講師になろうと有志が集まり、キャラバン・メイト養成講習（認知症に関する学習の講師を養成）を受講しました。

#### どんなことをしていますか？

キャラバン・メイトが講師となり、認知症サポーター（認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を見守り、支援する人）を養成する講座を開催しています。最初はテキストに沿った講義が中心でしたが、昨年からは、子どものときから高齢者・認知症への理解を深めてもらえるよう小中学校での開催をスタートし、講座内容を工夫しています。小中学校で開催する場合は、講師一人ではなくチームを編成し、寸劇をとりいれた内容にしています。小中学校に限らず、依頼先に応じた内容にするため、月2回集まって、講座案の検討や模擬講座・劇・紙芝居等の練習を繰り返し、スキルアップを図っています。

#### よかったことは？

「怒ってわかった。」認知症のご家族を看取った受講生の感想です。症状を知らない恐怖心から心ない態度をとってしまうこともあります。認知症になると、いろいろなことを忘れてしまいますが、感情はあります。笑顔で優しく、自分がされたらうれしいことをしてみてください。だれでもできる認知症サポーターの第一歩です。

これまでに7,888人(H24.1現在)が受講され、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるイメージをもっていただくとともに、地域全体で認知症の人や家族を支えていく環境が整いつつあります。

#### これから・・・

学校・企業等での養成講座開催に加え、地区社協・町内会・区長会単位での開催を増やし、身近な地域で高齢者が安心して暮らせる環境を整えていきたいと思っております。講座を受講された方は誰もが「認知症サポーター」です！人数や団体に関わりなく、ご依頼があれば、キャラバン・メイトが出向いてニーズに合わせた講座を開催します。みなさんのお住まいの地域や、お勤めの企業、通っている学校でも「認知症サポーター養成講座」を開催してみませんか？



因南中学校での  
「認知証サポーター養成講座」



講座案の検討